

【Close Up】 可燃ごみから、資源を救い出す

# ごみのコト、自分ゴト

私たちの周りで毎日出るのが「ごみ」です。そのごみの一部が資源になることをご存じですか。当たり前捨てた、そのごみ。資源を捨てて無駄にいませんか。もう一度、あなた自身のごみの分別や廃棄について考えてみてください。 問合せ先 役場安全安心課 47-5036

## まずは知るコト ごみのコト

### あなたの家のごみ箱は大丈夫!? 入っていませんか? リサイクルできる資源

以下のものは入っていませんか? これは資源です

ペットボトルのラベルなど **プラスチック**

食品などの空き容器 **プラスチック**

ペーパー類の芯 **雑がみ**

ティッシュの空き箱など **雑がみ**



あなたの分別が資源を救う

上にある一見ごみとして捨ててしまいがちなものは、全て資源になるごみ。可燃ごみとして出せば、焼却されて無くなってしまふ大切な資源です。可燃ごみに紛れている資源ごみを救い出せるのは皆さんの分別です。

町の可燃ごみは  
ごみの合計量の約9割を占める

平成30年度の町の可燃ごみの収集量の合計は、年間7,200トン。焼却施設で燃やして処分する「可燃ごみ」、焼却することのできない「不燃ごみ」、ペットボトルや新聞紙などの「資源ごみ」を合わせた量です。しかし、その中で圧倒的に多いのが「可燃ごみ」。その量は、4800トンで、合計量の約9割を占めています。

ごみの分別・減量をすすめる理由

ごみの分別・減量には、2つのメリットがあります。

一つ目はごみの減量で、処理費が減ることです。

二つ目は、分別をして資源ごみを増やすことで、町へ資源ごみの売却費(歳入)が増えることです。

分別をして減量するだけで、歳入が減り、歳入が増え、一石二鳥につながります。今日からはじめませんか。あなたの分別で、可燃ごみを減らして、資源ごみを増やしましょう。

## 数字で見る、ごみのコト

当たり前捨てているごみも、収集して処理するまで、多くの費用がかかっています。ごみに関わる数字から、ごみのコトを考えてみましょう。

### 群馬県市町村別1人1日当たりのごみの排出量 群馬はごみ大国!? 邑楽町は…

#### DATA1

●群馬県市町村別1人1日当たりのごみの排出量の状況

順位	市町村名	(g/人・日)	順位	市町村名	(g/人・日)
1	甘楽町	597	19	館林市	966
2	板倉町	645	20	高崎市	967
3	上野村	707	21	邑楽町	978
4	明和町	718		群馬県平均	986
5	下仁田町	737			
	...				
	全国平均	920			

全国平均よりも多い、ごみの量  
左の表は平成29年度の1人1日当たりのごみの排出量。邑楽町の排出量は全国平均より、多くなっています。群馬県内を見ても、真ん中よりやや下に位置し、現状、町のごみ排出量は多いと言えます。ちなみに、群馬県は全国の中でもごみの排出量はとて多く、ごみの排出量を少ない順で並べると順位は40位となっています。

都道府県のごみ排出量

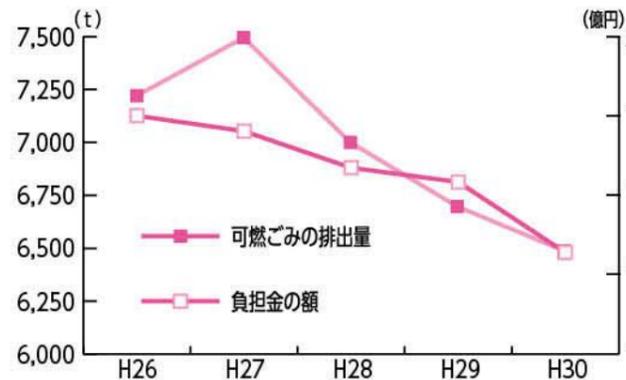
群馬県 全国40位 邑楽町 県内21位 /35

参考資料:群馬県環境情報サイト「ECOぐんま」より

#### DATA2

### 町の可燃ごみの収集量とごみ事業の負担金の推移 ごみ処理はタダじゃない

●邑楽町の可燃ごみの排出量と一部事務組合の負担金の推移



ごみ減量で、コストも減

平成30年度、町が大泉町外二町清掃センターに払った費用は約1億7千万円。そのうち可燃ごみの処理にかかった費用は約1億4千万円でした。収集運搬やごみを衛生的、適正に処理するために必要な費用です。全て皆さんの税金でまかなわれています。ごみの量が増えると、処理コストももちろん増加。平成30年度は、一世帯当たり、年間約1万6千円を負担しています。あなたはこの数字をどう考えますか。



#### DATA3

### 町の紙を資源として売却した場合の削減費

### 分別して、資源ごみとして出すと…

平成30年度のごみ処理費の実績より

可燃ごみ 1kg 当たり、処理費用が約 22 円

資源ごみとして出された 紙 143,260kg

この紙を可燃ごみとして処理した場合

紙 143,260kg × 22円 = 3,151,720円

歳出

約315万円

この紙を資源ごみとして売却した場合

1,872,920円の歳入

歳入

約187万円

結果、紙ごみを資源とした場合…… 約500万円の削減効果に

紙は資源で出せば、歳出削減に

左の式は平成30年度のごみ処理費の実績から、紙にかかる歳出分と歳入分の計算結果。紙を資源ごみとして出すだけで、こんなにもごみ処理費用の節約に。ごみ箱について捨てがちな紙。可燃ごみに占める紙の割合は、とても高くなっています。削減の余地はまだあるのかもしれない。そのためにも、1人1人の心がけと協力が必要です。



安全安心課から  
お知らせします

# Info

問合せ 役場安全安心課 ☎47-5036

牛乳パック・インクカートリッジは  
回収ボックスへお願いします

町ではごみの減量化を目的に、  
牛乳パックとインクカートリ  
ッジの回収ボックスを設置し  
ています。ごみに出さずに、  
回収にご協力ください。

▶設置場所

牛乳パック

邑楽町役場、中央公民館、  
長柄公民館、ヤングプラザ

インクカートリッジ

邑楽町役場、中央公民館



穴開けは火災や事故の原因です  
穴を開けず、使い切って捨てましょう

スプレー缶などのエアゾール缶や簡易型  
ガスこんろ燃料ボンベ(以下、エアゾ  
ール缶など)が原因による火災や事故が  
多発しています。火災や事故の原因で最  
も多いのは「穴あけ」。エアゾール缶な  
どを廃棄するときの「穴あけ」はやめて、  
使い切ってから捨てましょう。

小型家電の「電池・充電機」は  
『有害・危険ごみ』です。ご注意ください！

小型家電で使用する電池や充電機(以下、  
電池)。実はこの電池が原因で火災が多発  
しています。絶対に燃えないごみに出さ  
ないでください。電池はリサイクルが可  
能です。適切に出してください。

電池・充電機の使用製品から電池が

外せる

電池・充電機は  
有害・危険ごみ

本体は  
燃えないごみ

外せない

本体ごと  
有害・危険ごみ  
リチウム電池  
使用製品  
電気式シェーバー  
電子たばこ、など

容器包装

## プラスチックはマークで分ける

商品を入れたり、包んだりするために使われるプラ  
スチックやビニール、発泡スチロール製のボトルや  
袋、容器のことを容器包装プラスチックと言います。  
分別のコツはマークの確認。意外と捨てているもの  
はありませんか。



目印はこのマーク▶

これらは全て、プラスチックの資源ごみ(一例です)



容器包装プラスチックとして出せるもの

- ①ボトル・キャップ類
  - ②袋・ラップ類
  - ③カップ・パック類
  - ④トレイ(皿形容器)類
  - ⑤緩衝材・ネットなど
- ①~⑤を一緒の袋に入れて出せます

容器包装プラスチックの出し方ポイント

- 金属や紙のキャップなどプラスチック以外の異物を取り除く(値札は可)
- 洗って乾かす
- ペットボトルのフタとラベルは容器包装プラスチック
- 透明または半透明のビニール袋で、資源ごみとして出す



ごみのコツが詳しく知  
りたい人は、町が配布し  
ている『ごみの出し方』  
ポスターを確認してく  
ださい。役場安全安心課  
で配布しています。

します。分からないことは各行  
政区の生活環境委員に気軽に  
尋ねてください。

## 紙ごみは4種類に分けて、資源ごみに出す

紙のリサイクルと言えば「古紙」を想像するかもしれませんが、『新聞』『雑誌』『段ボール』などは代表的で、リサイクルの意識も高いのではないのでしょうか。けれど、身近で貴重な紙資源は他にもあります。それが『雑がみ』です。『雑がみ』とは、上記の3種類以外の紙類のことでパンフレットや包装紙、紙箱、紙袋などで、皆さんの生活の中にもきっとあるはず。貴重な資源の雑がみは分別して資源ごみに出しましょう。

① 新聞紙



② 紙パック



③ 段ボール



④ 雑がみ

トイレトーパーや  
ラップの芯



お土産などの紙の箱やお菓子の包装



雑誌や本など



ティッシュの空き箱



紙ごみの出し方ポイント

- 段ボールはひもで縛って出す
- 紙パックは回収BOXのある施設や店舗へ持って行く
- 雑がみは紙袋に入れるか、縛って出す

ごみの分別、自分ゴト。  
まずは、実践するコトから

分別はやっているけど...という人も。もう一度、『紙やプラスチック』の分別を見直してみませんか。実は、「みだ」と思って捨てていたものも、資源だった...ということがあるかもしれません。ごみの減量化は一人一人の心掛けから。ごみの分別は、自分ゴト。分別のポイントを一部紹介します。

雑がみ類はこんな風にまとめると簡単

ゴミ出しルールを守って  
資源の無駄を減らす



生活環境委員会  
会長 岩崎祐久さん(秋妻・17区)

資源ごみの分別収集が始まって20年、町のごみ排出量は年々減少傾向です。生活環境委員になって9年ですが、ごみの減量化、分別・リサイクルの意識は高まっていると思います。多くの人はきちんと分別し、決められた収集日・時間・場所にごみを出してくれています。しかし、ルールを守れていない人もいます。可燃ごみの場所に資源ごみが出されたり、可燃ごみ・不燃ごみ・危険ごみが混在していたりです。こうした混在ごみは資源の無駄になるだけでなく、ごみ処理に関わる人の事故やケガにつながるため、絶対にやめよう。ごみのコツは生活環境委員へさらなるごみの減量化、ごみ処理に関わる人の安全確保のため、今一度分別の徹底とごみの出し方のルールの確認をお願い